

秋田大学医短紀要 6 : 111-117, 1998.

老人保健施設の職員の疲労について (第二報)  
— 新設と既設の比較 —

上 村 佐知子\* 金 沢 善 智\*\*  
西 根 由香里\*\*\* 工 藤 美 里\*\*\*\*

On Fatigue of Staffs in Facility of Health Care Services  
for the Elderly (A secondary report)  
— A Comparision between New and Old Facilities —

Sachiko UEMURA\* Yoshitomo KANAZAWA\*\*  
Yukari NISHINE\*\*\* Misato KUDOH\*\*\*\*

はじめに

近年, 老人保健施設が新設され, 理学療法士が病院以外の職場で業務に携わることが多くなった。このような新しい職場においては, 理学療法士は指導的な立場に立たされたり, 職員の介助指導や業務における相談役になることが多々ある。筆者らは, 過去に, 越河ら<sup>2)3)</sup>による CFSI (蓄積的疲労徴候インデックス; the cumulative fatigue symptoms index) を用いて老人保健施設職員の疲労調査を行った<sup>1)</sup>。CFSI は様々な職種の疲労強度を把握するために作られた大変優れた尺度であるが, 老人保健施設職員の疲労状況についてはまだ詳細に把握していない。そこで, 今回筆者らは, 既設の老人保健

施設職員の疲労状況を CFSI における医療職の疲労パターンと比較し, それを把握することを試みた。さらに, 新設の老人保健施設職員の疲労調査を行い, これらのデータと比較検討した。その結果, 既設および新設老人保健施設職員の疲労形態について若干の知見を得たので報告したい。

方 法

対象は, 平成 8 年から 9 年までに調査した青森県と秋田県内の 5 ケ所の既設老人保健施設 (開設から平均 6.6 年経過) の職員と, 2 つの新設老人保健施設 (開設から 3.5 ケ月経過) の職員である。方法は, 越河らによる CFSI (蓄

秋田大学医療技術短期大学部

\*理学療法学科

\*\*弘前大学医療技術短期大学部

\*\*\*老人保健施設サングレイス

\*\*\*\*老人保健施設あまさぎ園

Key Words : CFSI ・ 老人保健施設職員 ・ 理学療法

積的疲労徴候インデックス）用紙（別紙参照）を各老人保健施設職員一人一人に配布し、その回答を求めた。なお、今回は、利用者と精神的にも身体的にも接触の多い介護，看護，理学療法士，作業療法士，医師，マッサージ師といった職種を対象とした。

CFSI は、81項目の心身症状についてその有無を問う疲労感評定尺度であり、内容は8特性

項目群に分類され、各特性別に訴え率が算出される。応答結果は「基本パターン」（レーダーチャート図）にのせて表され（図1），パターンの大きさ（訴え率の高さ）と歪み（特性別応答の片寄り）から疲労関連（職場・職務等）の負荷の徴候が判定される。特性項目は①主として精神的な側面の負荷を表現する項目群（基本パターンの左側）……不安徴候，抑うつ状態，

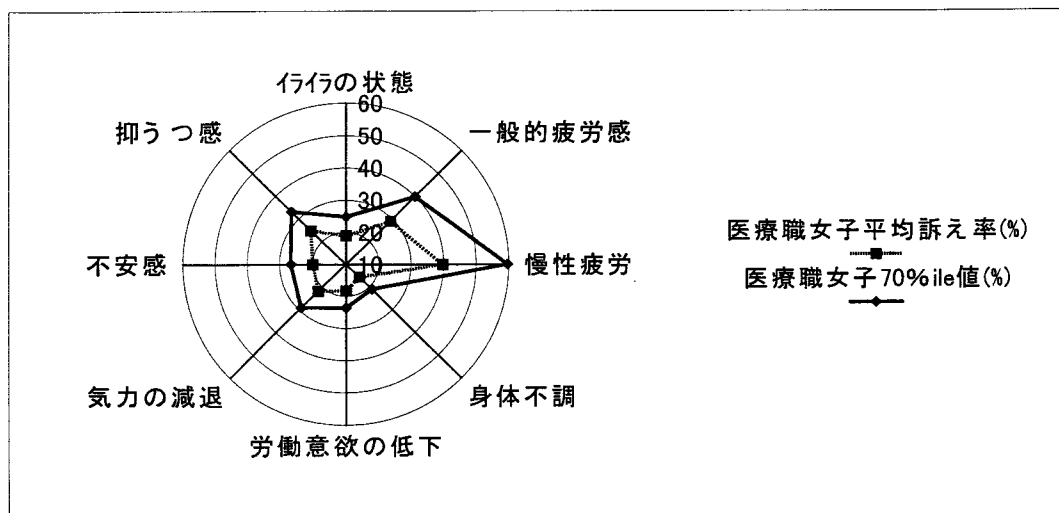


図1. CFSIにおける医療職（女子）の疲労パターン（％）

表1. 対象の概要

	既設老人保健施設	新設老人保健施設
所在と数 (平均経過年数)	青森 4, 秋田 1 (73.0±26.3ヶ月)	秋田県 2 (3.5±0.5ヶ月)
回答者総数	237名 (女子192名:男子45名)	66名 (女子56:男子10名)
平均年齢	35.0±12.8 歳	32.6±10.0 歳
介護職 看護職 その他(PT,OT,医師,マッサージ師)	160 名 65 名 12 名	49 名 17 名 2 名
平均職業年数 平均当該施設勤続年数	6.6±7.3年(不明な76名分を除く) 3.5±2.2年(不明な76名分を除く)	4.1±5.5 年 1.2±1.5 年

気力減退, ②主として身体的側面の負荷を表現する項目群(基本パターンの右側)……一般的疲労(身体的疲労), 慢性疲労(仕事の忙しさ), 身体不調, ③主として職場の状況から来る負荷などを表現する項目群……イライラ状態(不満など)労働意欲の低下(職場の雰囲気)の3つである。CFSIの応答結果は, 越河らによって職場単位, 職種などでまとめられており, 各集団の平均訴え率として表されている。今回の結果は, 医療分野の老人保健施設の職員が対象であることから越河らによる医療職の集団平均訴え率(医療職にある者の平均的な訴え率)や, 医療職の70%ile値と比較させた。70%ile値とは, 医療職のうちの70%の職場が入る値であり, これを越えると高い平均訴え率としてその集団の疲労が強いものと見なされる。

## 結 果

今回, 対象となった回答者の概要を表1に示す。CFSIに回答した職員は合計303名(女性

248名, 男性55名)で, 回収率は86%であった。職業別について, 今回は, 1グループが過度に小さくならないように配慮し, 看護職と理学療法士, 作業療法士, 医師, マッサージ師をまとめ, 「看護職他」として取り扱った。

### 1. CFSI 医療職と既設老人保健施設職員の比較

女子については, 既設職員の疲労応答率は, 医療職平均訴え率を大きく上回り, 特性項目も慢性疲労を除いて医療職70%ile値と近似している。また, 全体的なパターンも医療職70%ile値と似ている(表2・図2)。一方, 男子において, 既設職員の疲労応答率は, 医療職平均訴え率ばかりでなく70%ile値を上回っている。特に, 抑うつ感や気力の低下, 労働意欲の低下について訴えが強い(表3, 図3)。

表2. 特性項目に対する応答率の比較〔女子〕(%)

	イライラの状態	一般的疲労感	慢性疲労	身体不調	労働意欲の低下	気力の減退	不安感	抑うつ感
医療職女子平均訴え率	18.99	29.15	39.59	15.65	18.28	21.92	20.04	25.02
医療職女子70%ile値	24.83	39.87	59.57	21.10	23.62	29.23	26.64	33.22
既設女子職員	28.87	42.34	51.63	23.51	23.24	32.23	26.52	33.22
新設女子職員	30.10	38.21	51.12	17.35	20.74	34.52	29.22	36.31

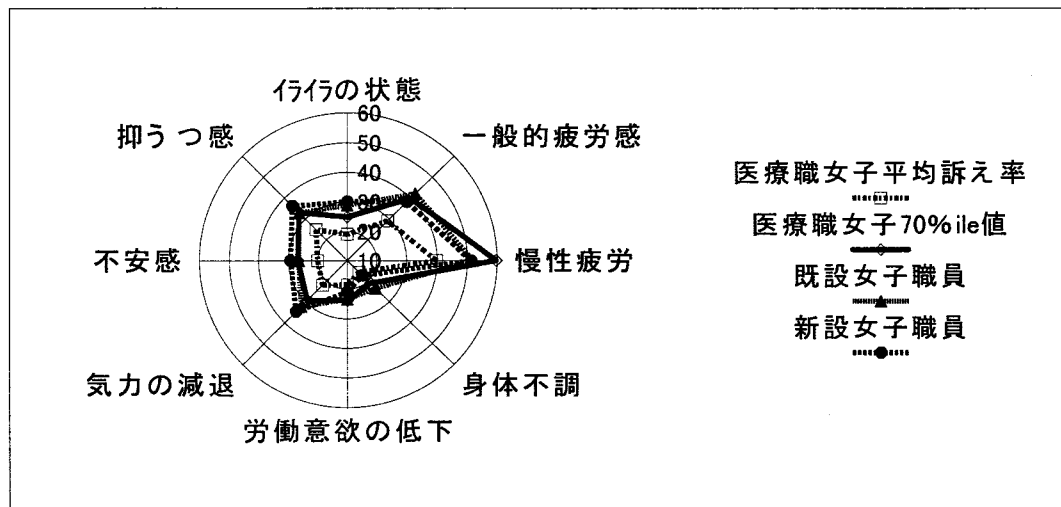


図2. 女子職員の疲労パターン (%)

## 2. 既設老人保健施設職員と新設老人保健施設職員の比較

女子について、新設職員は既設職員よりも一般疲労感や身体不調といった身体的負荷に対する訴え率がやや低い、精神的負荷（抑うつ感、不安感、気力の減退）に対する応答が少し上回っている（表2・図2）。つまり身体的には、既設職員よりも良好であるが、精神的に少しきつと感じている。また、男子においては、既設職員と比べてさらに精神的負荷（抑うつ感、不安感、気力の減退）や職場状況からくる負荷（労働意欲の低下、イライラ感）、身体不調が強くあらわれている（表3・図3）。

職種別にみると、既設職員と比較して新設の看護職他の精神的負荷（不安感、気力の減退）や職場状況からくる負荷（労働意欲の低下、イライラ感）、また身体的負荷（一般的疲労感、慢性疲労）が顕著に認められた（表4・図4）。一方、新設の介護職員は、抑うつ感がやや強くあらわれている。

## 3. 既設老人保健施設職員と新設老人保健施設職員の質問別訴え率の比較

質問別応答率からみると、新設、既設ともに腰痛（40）や目の疲れ（58）、肩こり（59）、体力の低下に関する項目（12）（70）、ウサバらしをしたい項目（52）が高く、回答者の50%以上がこれに応答していた（図5）。

## 考 察

### 1. CFSI 医療職と既設老人保健施設職員の比較

老人保健施設職員の疲労パターンは、医療職70%ile値のパターンに近似し、医療職平均値よりも強く負荷があらわれていた。このことから、老人保健施設で利用者と親密に接している職員は非常に疲労感が強いということがうかがえた。第一報では、老人保健施設ごとの疲労度を分析したのであるが、マンパワーの不足とケアプランの作製業務が職員の疲労訴え率に特に寄与しているものと考えられた<sup>1)</sup>。老人保健施

表3. 特性項目に対する応答率の比較〔男子〕（%）

	イライラの状態	一般的疲労感	慢性疲労	身体不調	労働意欲の低下	気力の減退	不安感	抑うつ感
医療職男子平均訴え率	15.31	21.10	28.83	14.10	15.02	15.78	17.19	18.21
医療職男子70%ile値	18.35	27.64	41.02	18.96	17.46	21.09	21.11	24.11
既設男子職員	21.90	28.67	42.22	20.95	24.79	30.37	21.62	28.15
新設男子職員	22.86	27.00	41.25	27.14	35.38	34.44	29.09	34.44

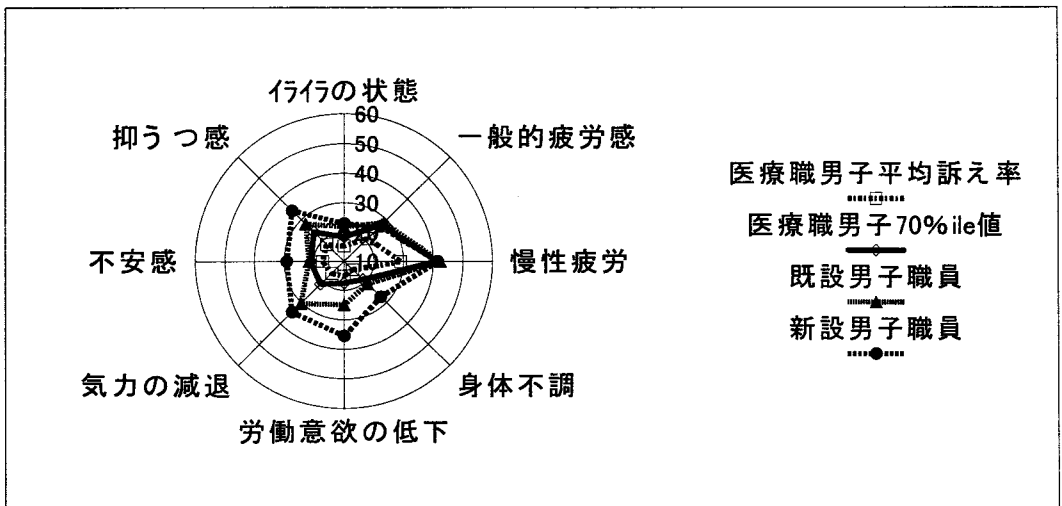


図3. 男子職員の疲労パターン（%）

設では、看護・介護職問わず「援助計画立案・評価業務」が最も大変な業務と感じていると報告されている<sup>5)</sup>。老人保健施設は、まだ歴史的に浅く有能な人材の育成が期待される職場であるが、このような報告から考えて、老人保健施設は、職員定数の安定や「援助計画立案・評価業務」を行える有能な職員の育成が課題と思われる。

男子職員の精神的負荷や職場状況による負荷が際立っていたことについてであるが、前回の調査結果でも同様の傾向が認められている。これについては、男性職員にとって働きにくい因

子が老人保健施設という職場に存在するのではないかと考えられる。例えば、実際に筆者は、男性職員が女子職員にできないような仕事（屋外の雑用や送迎車の運転など）を任せられることや、女性大多数の職場の雰囲気に対応できない男子職員の声を聞いたことが何度かある。このような場合、気力が減退したり、抑うつ感を強める傾向があるのではないかと考える。

## 2. 既設老人保健施設職員と新設老人保健施設職員の比較

新設職員は、既設職員よりも身体的には良好

表 4. 特性項目に対する応答率の比較〔職業別〕 (%)

	イライラの状態	一般的疲労感	慢性疲労	身体不調	労働意欲の低下	気力の減退	不安感	抑うつ感
既設介護職	27.41	38.94	49.61	23.66	23.13	32.15	25.68	31.94
既設看護職他	28.01	41.82	50.97	21.89	24.58	31.60	25.50	33.48
新設介護職	27.70	34.08	45.41	16.91	19.78	29.02	27.46	36.73
新設看護職他	32.77	43.53	61.76	24.37	32.13	50.33	34.22	33.99

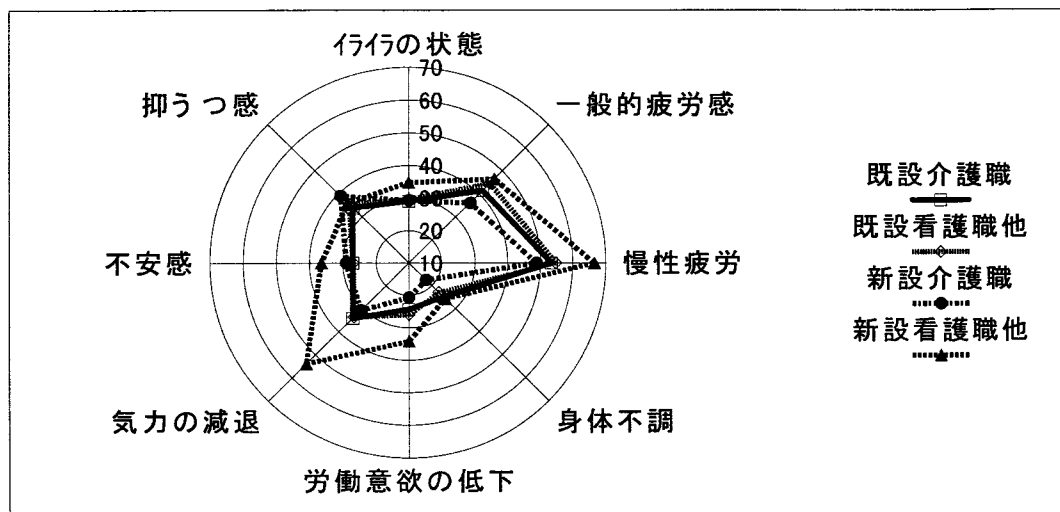


図 4. 職種別の疲労パターン (%)

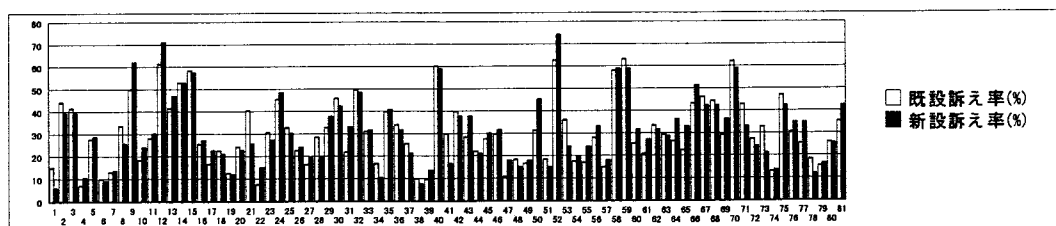


図 5. 既設職員と新設職員の質問別訴え率の比較 (%)

であるが、精神的にきつと感じていることがわかった。これについては、新設であるために職員の経験不足やこれに伴う不安、とまどい等があるものと考え。対象となった新設の老人保健施設では、両方とも現段階で、利用者の入所率が定員の約70%程度であったため、とりたててマンパワー不足とは思われない。

また、男子の新設職員が既設職員と比べてさらに精神的負荷や職場状況からくる負荷、身体不調が強く表れていることについては、前述した因子に加え、新職場への適応を余儀なくされているためではないかと考える。

職種別にみて、既設職員と比較して新設職員の看護職他の精神的負荷や職場状況からくる負荷、また身体的負荷が強かったのであるが、一般に看護職や理学療法士、作業療法士、医師は、介護職に比較して既に医療現場を経験している者が多い。特に新設の施設においては、介護職員が病院や老人保健施設経験がない者が多いため、看護・理学療法士・作業療法士等是指導的立場に置かれることが多い。したがって本結果は、指導的立場にあるリーダー的な職種に特に大きな負荷がかかっていることのあらわれではないかと思われる。一方で、新設の介護職員の抑うつ感が強く現れ、看護職等と対称的であった。これは、リーダー的役目を担い精神的に疲労している職種に対し、現段階で追従せねばならない職種である介護職に様々なジレンマが生じ、抑うつ的な感情が表れるためではないかと解釈される。いずれにしても推測の範囲であり、今後の課題である。

### 3. 理学療法的アプローチ

既設、新設を問わず職員の疲労の訴えを分析し、これを軽減しようとする試みは職員の労働効率の面から見ても重要である。身体的疲労に対しては、利用者に対する無駄な介助などをなくすための介助指導が大切である。また、質問別応答率からみると腰痛や肩こり、体力の低下に関する項目の訴え率が高く、「腰痛や肩こりへの対処」「体力アップ」といった積極的なアプローチが重要であると思われる。特に、新設の老人保健施設で初期から職員の自己管理能力を高めることは、事故予防のためにも非常に有意義なことであると思われる。

### 文 献

- 1) 上村佐知子, 他: 老人保健施設の職員の疲労について. 弘前大学医療技術短期大学部紀要, 21: 97-103, 1997.
- 2) 越河六郎, 他: 労働負担の主観的評価法に関する研究 (1) —CFSI (蓄積的疲労徴候インデックス) 改訂の概要—. 労働科学, 68: 489-502, 1992.
- 3) 越河六郎, 他: 夜間保育所保母の職務と労働負担 (2) 労働負担調査の結果. 労働科学, 68: 189-199, 1992.
- 4) 厚生省老人福祉局老人保健課 監修: 六訂老人保健施設関係法令通知集. p.239-247, 中央法規出版, 1995.
- 5) 江口信枝: 老人保健施設における業務に関する研究—看護職・介護職の業務別心理的負担感の比較—. 日本看護科学会誌17: 3, 286-287, 1997.
- 6) 篠田かおる, 他: 「蓄積的疲労調査」からみた看護職員の疲労に関する一考察. 日本看護研究学会誌, 20: 3, p281, 1997.  
(受付: 1998年1月20日)

## 別紙：CFSI（蓄積的疲労徴候インデックス）質問用紙

ご自分の近ごろのことで、あてはまる項目には○印を、あてはまらない項目には×印を、それぞれカッコ（ ）の中にお書きください。

- |                                   |                                      |
|-----------------------------------|--------------------------------------|
| 1. このところ食欲がない … ( )               | 39. 仕事仲間とうまくいかない … ( )               |
| 2. 根気がつづかない … ( )                 | 40. 腰が痛い … ( )                       |
| 3. ちょっとした事ですぐおこりだすことがある … ( )     | 41. 体のふしふしが痛い … ( )                  |
| 4. 生きていてもおもしろいことはないと思う … ( )      | 42. くつろぐ時間がない … ( )                  |
| 5. ものを読んだり、書いたりする気になれない … ( )     | 43. 考えごとがおっくうでいやになる … ( )            |
| 6. やっている仕事が単調すぎる … ( )            | 44. むやみに腹がたつ … ( )                   |
| 7. 気がたかぶっている … ( )                | 45. なんとなく落ち着かない … ( )                |
| 8. 動くのがおっくうである … ( )              | 46. 何かしようとしても、いろんな事が頭に浮かんできて困る … ( ) |
| 9. このところ毎日眠くてしょうがない … ( )         | 47. 家族の世話で追いまわられている … ( )            |
| 10. 家族と一緒にいてもくつろげない … ( )         | 48. 働く意欲がない … ( )                    |
| 11. このところ頭が重い … ( )               | 49. このところ、やせてきたようだ … ( )             |
| 12. 朝、起きた時でも疲れを感じることが多い … ( )     | 50. 自分が他人より劣っていると思えて仕方がない … ( )      |
| 13. いろいろなことが不満だ … ( )             | 51. よく下痢をする … ( )                    |
| 14. 心配ごとがある … ( )                 | 52. 何かスパッとウサばらしをしたい … ( )            |
| 15. 一人きりでいたいと思うことがある … ( )        | 53. 目がかすむことがある … ( )                 |
| 16. 理由もなく不安になることがときどきある … ( )     | 54. 物音や人の声がカンにさわる … ( )              |
| 17. 動作がぎこちなく、よく物を落としたりする … ( )    | 55. 気が散って困る … ( )                    |
| 18. このところ寝つきがわるい … ( )            | 56. すぐ気力がなくなる … ( )                  |
| 19. ちかごろ、できもしないことを空想することが多い … ( ) | 57. 仕事に興味がなくなった … ( )                |
| 20. 友人とのつきあいなどおっくうである … ( )       | 58. 目が疲れる … ( )                      |
| 21. 胃・腸の調子がわるい … ( )              | 59. よく肩がこる … ( )                     |
| 22. 仕事を手につかない … ( )               | 60. 眠りが浅く、夢ばかりみる … ( )               |
| 23. すぐどなったり、言葉づかいがあらくなってしまう … ( ) | 61. すぐ風邪をひく … ( )                    |
| 24. なんということなくイライラする … ( )         | 62. 近ごろ元気がない … ( )                   |
| 25. 全身の力がぬけたようになることがある … ( )      | 63. 将来に希望がもてない … ( )                 |
| 26. 自分がいやでしょうがない … ( )            | 64. だれかに打ち明けたい悩みがある … ( )            |
| 27. 話をするのがわずらわしい … ( )            | 65. 自分の好きなことでもやる気がしない … ( )          |
| 28. しばしばめまいがする … ( )              | 66. 頭がさえない … ( )                     |
| 29. することに自信がもてない … ( )            | 67. このごろ足がだるい … ( )                  |
| 30. このごろ全身がだるい … ( )              | 68. なんとなく気力がなく … ( )                 |
| 31. おもいきりケンカでもしてみたい … ( )         | 69. ささいなことが気になる … ( )                |
| 32. 朝、起きた時、気分がすぐれない … ( )         | 70. 仕事での疲れがとれない … ( )                |
| 33. 毎日出勤するのが大変つらい … ( )           | 71. 横になりたいくらい仕事中に疲れることが多い … ( )      |
| 34. 職場の雰囲気 that 暗い … ( )          | 72. 家に帰っても仕事のことが気にかかって困る … ( )       |
| 35. このところ、ボンヤリするところがある … ( )      | 73. 今の仕事をいつまでも続けたくない … ( )           |
| 36. 何ごともめんどくさい … ( )              | 74. 夜、気がたって眠れないことが多い … ( )           |
| 37. 上役の人と気が合わないことが多い … ( )        | 75. 毎日仕事でくたくたに疲れる … ( )              |
| 38. 胸が悪くなったり、はき気がする … ( )         | 76. 生活にはりあいを感じない … ( )               |
|                                   | 77. なんとなく生きているだけのような感じがする … ( )      |
|                                   | 78. 努力しても仕方ないと思う … ( )               |
|                                   | 79. 何をやっても楽しくない … ( )                |
|                                   | 80. 自分の仕事のことが心配で仕方がない … ( )          |
|                                   | 81. ゆうつな気分がする … ( )                  |